

第4号様式(第10条関係)

会 議 録 (要 旨) (案)

会 議 名	令和2年度第1回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和2年5月27日(水)
開 催 場 所	書面開催
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：佐藤委員 諸江委員 鈴木委員 安部委員 牧委員 小野委員 山口委員 後藤委員 吉澤委員 福井委員
議 題	1 実施計画(素案)について 2 その他
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保 留事項等を記載す る。)	議題1について 今回の意見を踏まえ、事務局より改めて素案を示し、議論を深めていく。 議題2について 次回の開催予定については、改めて事務局より報告する。また、インターネットを活用した会議開催については、次回の審議会委員から意見を伺うこととする。
審 議 経 過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は 一つにまとめる。)	<p>ー緊急事態宣言(新型コロナウイルス感染症)を受け、書面開催ー</p> <p>1 報告</p> <p>(1) 令和2年度第1回廃棄物減量等推進審議会の書面開催について</p> <p>(2) 令和元年度第4回廃棄物減量等推進審議会会議録(要旨)について</p> <p>(3) 市民アンケートについて</p> <p>[主な意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地区や年齢によって様々な意見があるが、きっちりとした枠組みを作りシステム化すれば、軌道に乗ると思う。意見の全てを解消することは困難だが、プライバシー、不法投棄、結果が目で見えるような仕組みなど、細分化して構築し、スタートしても良いと考える。 ● 年齢層、地域、住宅事情により様々な意見があるが、有料化及び戸別収集に肯定的な回答が多いように見受けられた。 ● 家庭ごみの有料化に対し、「導入すべきではない」が導入しても構わない」を大きく上回っているのが気になる。そして、「どちらでもない」を肯定的な考えに取り込んで半数を超えているのは、強引ではないか。今後、有料化のメリットやその必要性については粘り強く説明していく必要があると考える。 ● 自由意見において、20代、30代が経済的負担の増加を理由に反対している印象がある。また、現在の新型コロナウイルス感染症の拡大により、暮らしの先が見えない状況下では、反対意見がより多数派となっているであろうことが予測される。 ● 有料化の導入について、有料化に肯定的な方【導入すべきである+導入しても構わない】+【どちらでもよい】=有料化に賛成ないし反対でない方という分析手法は次の2点からやるべきではないと思う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 否定でもない肯定でもない「中間選択」設定の意味を損なう。 ② 「どちらでもよい」層が有料化に動くとみるのは疑問である。 ● 生産年齢の多くが有料化に反対をしており、この層の意見にどう向き合うかはとても重要である。

●=委員

○=事務局等

- 今後、具体的事項を検討するに当たり、アンケート調査の結果を活用していきたいと考えている。特に、若い世代に対する周知については、課題と捉え方法を検討して行きたい。また、「どちらでもない」層を取り込むことについては、今後の家庭ごみ有料化の推進に当たり、事務局としてこの層の方々に理解していただくことが重要と考えているので、御理解をいただきたい。

2 議題

議題1 実施計画（素案）について

[主な意見等]

- ごみ分別・資源化の推進では、ごみ減量にはつながらないのではないか。他市状況の図等で示してほしい。
- 有料化導入時には、全世帯にごみ袋を無料配布し、その後は有料で購入するように検討してもらいたい。
- 指定収集袋について、プラごみの袋に5リットルは不要ではないか。
- 次回以降の審議会で議論させていただく。
- 組成分析について、ごみに資源物の含まれている割合が他市と比べて高いのか、低いのか分からない。
- 1世帯当たりの平均負担額について、世帯人数が不明である。
- 手数料収入で、収集運搬費用の増加分を負担可能なのか。
- 国の動向について、G20での海洋プラ汚染ゼロの目標が示されたことを追記してはどうか。
- ごみ減量効果の図について、図の作成に当たって使用した根拠となるデータについての標記が必要ではないか。
- 容器包装プラスチックを有料化する目的について、「分別排出の徹底」、「ごみ総排出量削減」などと追記してはどうか。
- 1世帯当たりの妥当負担額について、月額であることを明記するべきべきである。
- 追記及び修正させていただく。
- 市民に対し、有料化による減量効果を継続公表するよう検討してもらいたい。
- 実施計画素案作成に当たって、次の事に留意するべきである。
 - ① 「ごみ有料化」は単純な値上げでない事を方法案で「見える化」する。
 - ② リバウンドが起こりにくい方法案とシステムを構築する。
 - ③ 公平性と不法投棄対策を基本とする巨大集合住宅の収集方法を具体化する。
- 市民の方々に理解していただくためにも減量効果等の「見える化」は重要と考えている。今後の審議を踏まえ、検討させていただきたい。

議題2 その他について

- 今後の審議会の開催日程や開催場所など詳細については、後日お知らせいたします。
- 今回の議題については、重要な項目が多く、書面開催には馴染まない。アンケートの内容確認でも議論が必要と考える。さらに、実施計画は、アンケートに増して重要で、審議会の場で意見を出し合うことが必要である。については、インターネットを活用した会議開催について、検討いただきたい。
- インターネットを活用した会議開催については、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況及び委員の皆様のインターネット環境等を踏まえながら検討を進めたい。

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	傍聴者： <u>0</u> 人
-----------------	---	-----------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等：)
------------------	---

庶務担当課	協働推進部	ごみ対策課(内線：293)
-------	-------	---------------

(日本工業規格A列4番)